

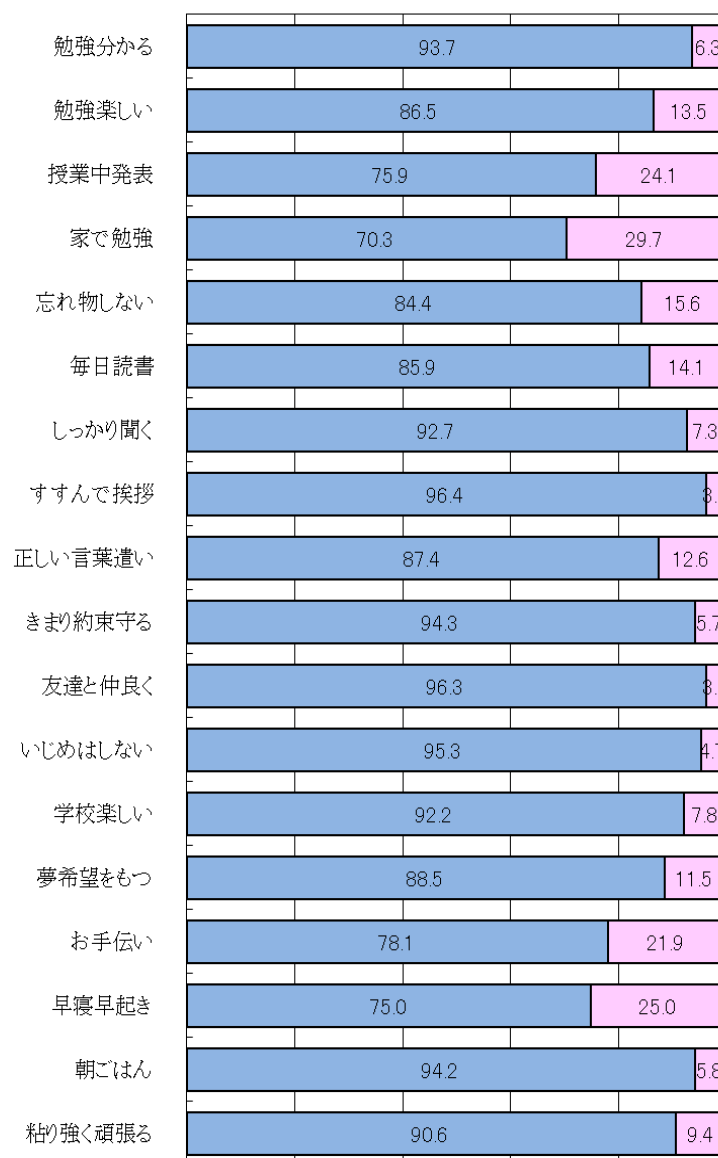
学校だより

令和2年3月24日 特別号
京都市立向島小学校
校長 前川 博也

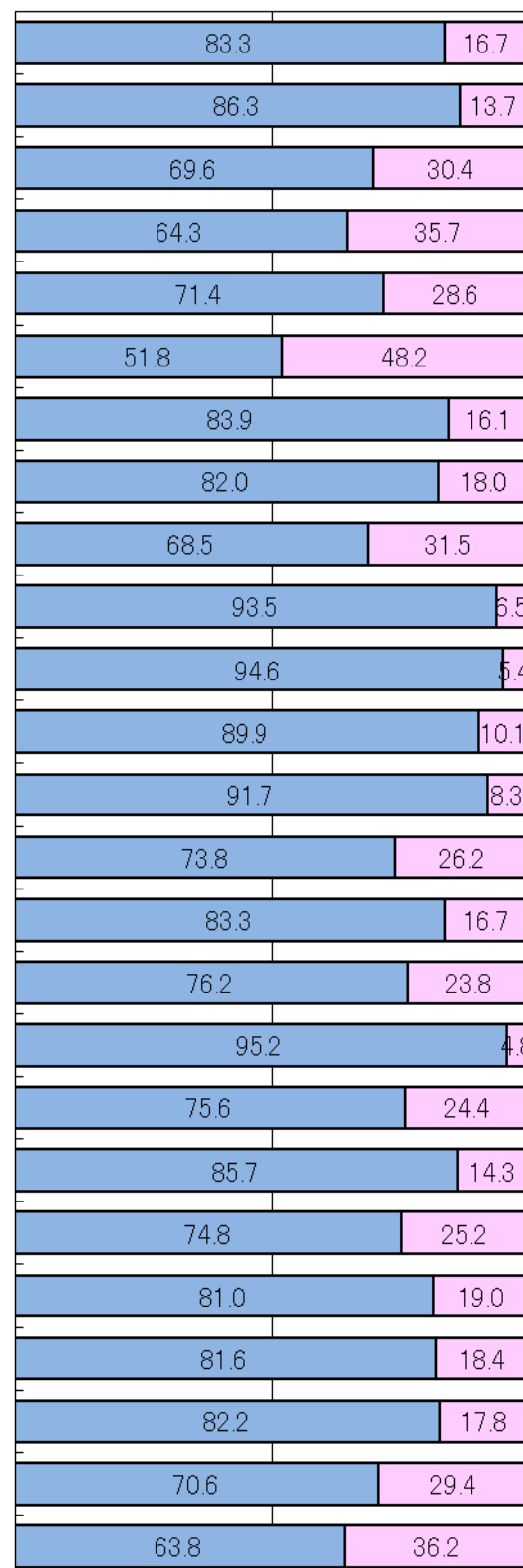


後期学校評価結果の考察

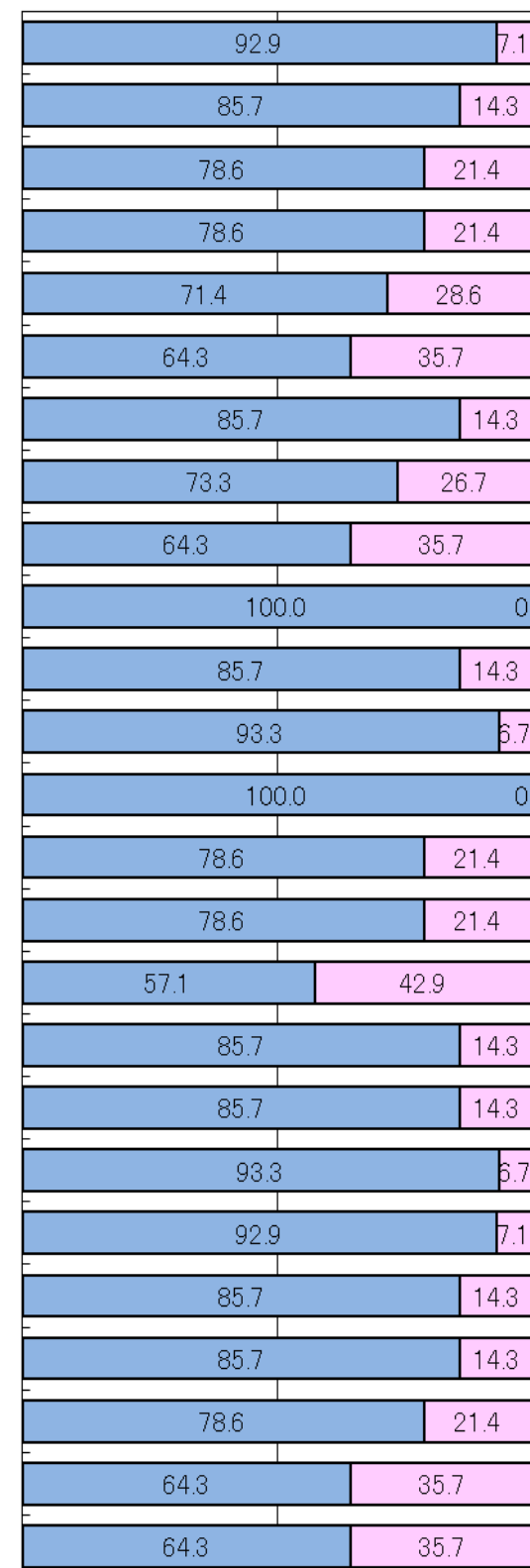
児 童



保 護 者



教 職 員



グラフは学校評価（４段階）の
・「よくできている」、
「だいたいできている」の合計(左側)
・「あまりできていない」、
「できていない」の合計(右側)
を示しています。

よくできている ・だいたいできている	あまりできていない ・できていない
-----------------------	----------------------

人権を大切にした教育活動
教育方針を知る
お便りで学校の様子を知る
教職員に質問・相談
学校行事へ参加
PTA 地域行事へ参加
子どもが地域行事へ参加

児童に関して

児童の調査では、「授業中発表」の項目が、前期の調査と比較してプラス評価が約9ポイント上昇しています。これは、1月24日の研究発表会に向け、授業学年だけでなく全校で授業改善に取り組んできた結果が表れていると考えられます。高学年の授業においても、一人一人が自分のノートなどをもとに意見を述べていましたし、低・中学年でも、ペアトークやグループでの話し合いを重ねていくことで、自信をもって発表することにつながっていったのではないかと考えます。

これからは、さらに、しっかりした根拠をもって内容のある発表ができることや、話し合いをすることで深めていけるような取組を進めていきたいと思います。

保護者に関して

しかし、保護者の方の調査では、「勉強が分かる」という項目でマイナス評価が5ポイント以上増えており、学校での子どもたちの頑張りを保護者の方に実感として伝えきれていないと考えられます。テストの点数や通知票の評価だけでなく、参観・懇談やお便り、学校ホームページなどでも、もっと日常の学習の様子を伝えていけるようにしていきたいです。

また、前期に続き、「読書」の項目は評価が低いので、引き続き、取組を進めたいと思います。

教職員に関して

教職員の評価では、「家庭学習」や「しっかり聞く」などのプラス評価が増えていたのに対し、「睡眠」の項目が、前期に比べて15ポイント近く低下していました。テレビやゲームなどがやめられず、寝る時刻が遅くなることが原因と考えられますが、インフルエンザなどの予防という面でも、十分な睡眠が必要なことを子どもたちに指導していきます。ご家庭でも、十分な睡眠時間がとれるよう、ご協力をお願いします。